

## 学校・保育園では

各学校・保育園では、歯の健康を保つための取り組みが行われています。ここでは、三和小学校と古井第一保育園の取り組みを紹介します。

### 三和小学校



三和小学校養護教諭  
坂井祐子さん

歯の健康に関する取り組みを始めて、今年で5年目になります。具体的な取り組みとしては、毎月8日から14日(はがいいよ)を「歯きり週間」に指定して、朝、昼、夜の歯磨きができているか、カードで点検をします。歯磨きができたら、カードに色を塗り、期間の終わりに反省を書いて提出してもらいます。年間パーフェクトを達成することができたら、「歯きり賞」のご褒美もあり、子どもたちは頑張って取り組んでいます。

6月には、歯の衛生週間に合わせ、各学年1時間ずつ「歯科保健指導」ということで、染め出しによる歯磨きがきちんとできているかのチェックと保健指導を行っています。染め出しによるチェックは、夏休みの課題としても親子で取り組んでいただくことにより、保護者の方々にとっても、歯磨きの大切さを考えていただくきっかけになっています。

また、むし歯がある子に対する治療勧告を、歯科健診時と夏休み前の2度行うことで、治療率も向上してきました。

今後は、自分から進んで歯を磨けるようになり、また、ただ磨くだけでなくきれいに磨けるようになってもらえればと思います。



▲給食を食べた後に歯磨きをします

よりきれいに磨けるようになってもらえれば

### 8020 おじいちゃん



天野 昶さん  
(蜂屋町・81歳)

戦争でフィリピンに行っていた時、物資が乏しく、指に塩を付けて歯を磨いていました。それ以降ずっと、塩で歯を磨いています。

今も全部自分の歯で、歯ぐきもピンクです。2、3カ月に1回ぐらいのペースで歯医者にも通い、きれいにしてもらっています。せんべいなどの硬い物でも食べられますよ。

ずっと塩で歯を磨いてきました

市内公立保育園では、年2回、歯科衛生士による「歯磨き教室」を実施し、子どもたちに歯の大切さや、正しい歯の磨き方を教えています。特に、6歳きゅう歯の生える年長児には、「王様磨き」の指導や、正しい磨き方を意識するために染め出しを実施しています。その成果か、給食後の歯磨きでは、鏡を見ながら丁寧に歯を磨



▲2歳児のクラスでは「仕上げ磨き」を行います

### 古井第一保育園



古井第一保育園長  
川合伸子

「仕上げ磨き」が大切です

ている子の姿が見られます。

また、歯科医師による「歯科健診」を年1回実施し、その結果を保護者の皆さんに知らせたり、「かみかみメニュー」など、歯を丈夫にする献立を紹介するなど、家庭への啓発を通し、歯への関心を深めてもらっています。

小さいお子さんは、なかなか自分ではきれいに歯を磨くことができないので、お父さん、お母さんの「仕上げ磨き」が大切です。